ゾンビの差し押さえが増加中

APR 2023 — ATTOM から報告された新しいデータによると、空き家とゾンビの差し押さえレポートでは、ゾンビの差し押さえ (所有者によって放棄された差し押さえ前の物件) の数が、立ち退きのパンデミック時代のモラトリアムの終了以来増加していることがわかりました。差し押さえ。

2023 年第 1 四半期のレポートによると、米国では 298,533 の居住用不動産が差し押さえの過程にあり、2022 年第 4 四半期のレポートから 5% 増加し、2022 年第 1 四半期からは 30% 近く増加しています。

第 1 四半期のレポートに含まれる差し押さえ前の物件のうち、8,141 件がゾンビの差し押さえです。これは、前四半期から 5.4% 増加し、前年同期から 10.6% 増加しています。

ATTOM によると、ゾンビ物件の数は過去 4 四半期ごとに増加しています。継続的な増加にもかかわらず、ゾンビの差し押さえの数は歴史的に低いままであり、1 億 110 万の住宅用不動産の合計ストックにほとんど影響を与えていません。

ATTOM の CEO である Rob Barber 氏は、「ゾンビの差し押さえによる潜在的な損害と、それらが引き起こす可能性のある腐敗は、国の多くの地域でレーダースクリーンから遠く離れたままです。「とはいえ、一般的な差し押さえとともに、数字が上昇し続けているため、今後数か月でこれが変わる可能性があることを示す兆候はほとんどありません。特に経済的に苦境に陥っている地域では、この点に引き続き注意を払う必要があります。」

2023 年第 1 四半期には、差し押さえの可能性に直面している合計 8,141 の居住用不動産が、所有者によって所有者によって退去されました。これは、2022 年第 4 四半期の 7,722 件および 2022 年第 1 四半期の 7,363 件からわずかに増加しています。

ゾンビの差し押さえは、ほとんどの地域ではまれなままですが、ゾンビ物件が 50 件以上ある州で第 4 四半期から第 1 四半期にかけて最大の増加が見られたのは、アイオワ州 (ゾンビ物件が 42% 増)、アリゾナ州 (25% 増)、オクラホマ (25% 増) です。20%)、メリーランド州 (20% 増)、マサチューセッツ州 (17% 増)。

少なくとも 50 件のゾンビの差し押さえがある州の中で四半期ごとに最大の減少が見られたのは、メイン州 (10% 減)、ネバダ (10% 減)、ジョージア (6% 減)、コネチカット (3% 減)、ミシガン (3% 減) です。

SOURCE: Dodd Frank Update https://bit.ly/3FHVKQD

PROVIDENT TITLE COMPANY